

## 施工仕様書

製品名 ネオフレッシュ断熱

---

仕様 UVマルチコートSi仕様

---

山本窯業化工株式会社

技 術 部

## 製品概要

製品名	ネオフレッシュ断熱/UVマルチコートSi
特記	合成樹脂エマルジョン系仕上塗材
用途	住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。
適用下地	外壁改修全般
適用箇所	屋外壁面
荷姿	ネオフレッシュ断熱 10kg / UVマルチコートSi 15kg

## 施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- 3 コンプレッサーは3馬力以上のものをご使用下さい。
- 4 下地は十分に乾燥してから施工してください。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工してください。
- 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
- 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
- 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 14 仕上材を施工する場合は、上吹き後、夏期24時間、冬期48時間以上乾燥後施工に入って下さい。
- 15 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 16 その他の注意事項
  - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
  - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

## 標準施工仕様

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間	
1	セラ水性シーラーHi 清水	15kg 1.5～4.5kg	0.10～0.15	エアレスユニット、エアースプレー ウールローラー	1	3時間以上 3日以内
2	ネオフレッシュ断熱 清水	10kg 0～0.2kg	0.6～0.7	砂骨ローラー 器具：リシンガン 口径：4～6mm 圧力：490～590KPa (5～6kg/cm <sup>2</sup> )	1	3時間以上 3日以内
3	ネオフレッシュ断熱 清水	10kg 0～0.2kg	0.5～0.6		1	24時間以上 3日以内
4	UVマルチコートSi 清水	15kg 0.8～1.2kg	0.4～0.5	器具：リシンガン 口径：4～6mm 圧力：490～590KPa (5～6kg/cm <sup>2</sup> )	1	24時間以上 (最終養生)

※ 上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### ※ ネオフレッシュ断熱吹付施工について

ネオフレッシュ断熱はリシンガン、万能ガンによる吹付施工が可能ですが、仕上がりにクレーターを生じます。凹凸のあるボードや旧塗膜の改修では目立ちませんが、平滑な下地(旧塗膜)への施工の場合、幾分クレーター跡が残ることがありますのでご注意下さい。(通常2回塗ですが3回塗にすることで解消できます)

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。  
間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。

## 安全衛生上の注意事項

### 水系商品対象

#### 取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行ってください。

#### 緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。